

異分野領域研究会 - ピッチ資料と内容の伝え方について -

情報理工学研究科 青井 大門, スポーツ健康科学科 井上 健一郎
情報理工学研究科 王 浩南, 理工学研究科 後藤 直樹



ピッチスライドについて

チェックポイント

1. 聞き手が見やすいスライドであるべき
2. 内容は口頭で補う
3. スライドに1語, 1単語でも良い
4. 文章より図を使う
5. 内容を詰め込まず分ける

例1

スライドの作り方

- ・ 順を追ったスライド作りである必要はない
・ 例) 研究発表(背景→課題→仮説...)
- ・ 聞き手がわかりやすいようなスライドであるべき
内容は口頭で補う
- ・ スライドに絵1枚, ワード1語でも良い
- ・ シンプルなスライドであるべき

ポイント1, 2, 3

スライドの作り方

- ・ 順を追ったスライド作りである必要はない
・ 例) 研究発表(背景→課題→仮説...)
- ・ 聞き手がわかりやすいようなスライドであるべき
内容は口頭で補う
- ・ スライドに絵1枚, ワード1語でも良い
- ・ シンプルなスライドであるべき

1枚に一言

例2

ポイント4, 5

ビジネスや起業を取り巻く環境

- ・ 日本はうまくいっていない
- ・ 終身雇用の終了
- ・ 大手の衰退
- ・ 高齢化, 事業継承の失敗
- ・ 起業
- ・ ポスト先進国
- ・ ベンチャーブームは4次
- ・ 起業に必要なのは, 約25万+資本金
- ・ 始めるきっかけ
- ・ 要はバラバラ
- ・ 実際に起業して, 10年後に残っている会社の割合は6.9%, 20年後に残っている会社の割合は0.3%
- ・ 海外の国はうまくいっている。日本とは異なり, 経済を受けても落ちなくて良いで済む。スタートアップを支援し経済を支えている。
- ・ 日本はうまくいっていない
- ・ そんな日本で成功するためには壁を乗り越えられる執念
- ・ 腐れ・ポスト先進国の確か?
- ・ 背景には, 失敗を許し冒険を応援する文化の存在

取り巻く環境

終身雇用の終了
高齢化, 事業継承の失敗
6.9%, 0.3%
失敗を許さない



取り巻く環境

失敗を許し, 冒険を応援
エコシステムの構築
先進国のまま



他分野の方への研究の伝え方

修正前

私の研究内容

- ・ InN (窒化インジウム) は窒化物半導体に分類される半導体材料の1つです。この窒化物半導体には紫外線LEDに使われるAIN (窒化アルミニウム) や2014年に3名の日本人研究者のノーベル物理学賞受賞の決め手となった高効率の青色発光ダイオードに使われるGaN (窒化ガリウム) があります。これら窒化物半導体はそれらの合金にすることでより広い範囲での活躍が期待されています。InNは理論的には優れた物性値を持っている一方で作製が困難で期待される能力を発揮できていない現状にあります。

- ・ 私の研究はInN作製のメカニズムを解明すること, InNの高品質化です。

分かりにくかったところ

- ・ 背景知識のない者には分かりにくい
- ・ 伝えたいことがわからない
- ・ 文章が羅列長すぎる
- ・ 改行や図がない

修正後

①

半導体の材質による特性

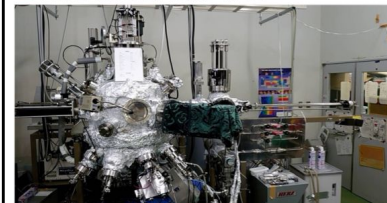
- 社会で使われている半導体の約90%がシリコン
- なぜシリコン100%にならないの?
半導体には「電気のコントロール」のほかに「電気と光の変換」ができる

シリコン
○「電気のコントロール」
×「電気と光の変換」



何をやっているのか?

- 普段このような装置を使っています



③

②

何をやっているのか?

- 理想的な窒化インジウムを作ろうとしている
→ 窒素とインジウムをぶつけて結晶にする
→ 温度, ぶつけ方などの最適な条件を探る
→ 電子顕微鏡, 電気特性等による評価
- 課題
なかなか結晶の乱れが改善できない
→ 電気特性は理想の約20%

私が目指すもの

私が研究しているのは窒化インジウム

2000年頃に立命館大学で作られた窒化インジウムにより特性が世界的に見直された

- 実用化への期待
赤外線を出せる→光通信に使える
・ 通信速度アップ→5Gの先へ
・ 省エネ

④